



# 奈良県感染症情報

令和2年第24週(6月8日～6月14日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.50	(0.85)	↑	↑	↑	↓
2	A群溶連菌咽頭炎	0.47	(0.53)	↑	↑	↑	↑↑
2	突発性発しん	0.47	(0.56)	↗	↘	↑	↓
4	手足口病	0.12	(0.12)	↑	↑↑	↘	→
5	水痘	0.03	(0.03)	↗	↓	↑↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

## ◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症については、特定の疾患の流行はみられませんが、全体の報告数は増加傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の新たな感染者の報告はありませんでした。しかし、医療機関や接待を伴う飲食店などでクラスターが発生し、感染経路不明の感染者の報告がある地域があります。経済再開に伴い県をまたいだ移動が増加しつつあり、特に往来の多い関西圏の状況を注視しましょう。

また、夏は肌の露出が増えますが、農作業やキャンプなど野山で活動する場合には、蚊やダニが媒介する感染症に注意が必要であり、肌の露出を避ける、虫除け剤を使用するなどの感染予防を行いましょう。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(田中小児科医院)

発熱患者はいたが、感染性胃腸炎以外の登録感染症はなかった。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

アデノ様の高熱例や、熱・嘔吐なしの水様下痢の感染性腸炎が見られる。

外来数はまだ少なく、その他の感染症は見られなかった。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

全体に流行性疾患は少ない。

手足口病、アデノウイルス咽頭炎、溶連菌感染症に加え、熱・咽頭痛のみのウイルス性咽頭炎が散見されている。



出典:厚生労働省 HP

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 24 週 6 月 8 日 ~ 14 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱								
A群溶連菌咽頭炎	16 (0.47)	1 (0.11)	2 (0.22)	9 (1.29)	2 (0.33)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	51 (1.50)	7 (0.78)	12 (1.33)	10 (1.43)	21 (3.50)		1 (0.50)	
水痘	1 (0.03)			1 (0.14)				
手足口病	4 (0.12)	2 (0.22)			1 (0.17)		1 (0.50)	
伝染性紅斑								
突発性発しん	16 (0.47)	4 (0.44)		6 (0.86)	6 (1.00)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	7 (0.70)	3 (1.00)	1 (0.33)	3 (1.50)				
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市1、郡山2、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(中和1) 侵襲性インフルエンザ菌感染症1件(中和1) 梅毒1件(吉野1)

❖ 第24週のトピックス ❖

SARS-CoV-2 抗原検出用キットの活用に関するガイドライン  
令和2年6月16日改訂(厚生労働省HP)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000640554.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						
RSウイルス感染症	男																						104
	女																						69
咽頭結膜熱	男																						79
	女																						69
A群溶連菌咽頭炎	男				1					2	1		2	1									7
	女				3	1					1	1		2									9
感染性胃腸炎	男		2	3	3	2	1	4	1	1		2	4	2	6								31
	女	1	3	1	3	1	1	2					3	1	4								20
水痘	男												1										1
	女																						68
手足口病	男		1	1							1												3
	女						1																1
伝染性紅斑	男																						156
	女																						116
突発性発しん	男		1	4	3																		8
	女		3	4	1																		8
ヘルパンギーナ	男																						9
	女																						10
流行性耳下腺炎	男																						6
	女																						8
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						2
流行性角結膜炎	男														2								2
	女														1	1					2		5
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女											1											12
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						5

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

